

匠の技が冴える微細な世界

WAZA-ALI 解析技術

MaSCは2017年よりMaSC技術交流会”Real Exchange”と題して産学の共創の起点の場とするべく技術交流会を開催して参りました。第15回は、片平地区の評価分析装置と技術職員の活躍、いわば評価分析にまつわるハードとソフトにスポットライトを当て、示唆に富んだ事例紹介や、研究に寄りそう評価分析の今後についてのディスカッションを企画しました。評価分析を起点とした各種連携の創出を目指します。是非、お気軽にご参加下さい。

開催日時

2025年7月9日（水）

13:30-17:25 技術交流会 ※対面

17:30-19:00 意見交換会（立食形式）

参加費

無料

対象

学内外研究者・技術職員・内容に関心のある方

参加申込

下記フォーム或いはQRコードよりお申込み下さい。【申込締切 7/4】

<https://forms.gle/RNpBUk7PpZb19no77>

意見交換会は会費制（3000円・飲食代込）です（当日受付にて現金支払）。

場所・アクセス

東北大学片平キャンパス 片平北門会館2階 エスパス・セリシール

https://www.tohoku.ac.jp/map/ja/?f=KH_A01

主催 東北大学 産学連携先端材料研究開発センター（MaSC）

共催 東北大学 事業支援機構 総合技術部

研究推進・支援機構 コアファシリティセンター

研究推進・支援機構 リサーチ・マネジメントセンター



プログラム

13:30 開会

13:35-15:05 分析装置紹介：分析で何がわかるのか？～事例紹介を交えて～（各15分）

「MaSCが保有する分析装置とそれらで出来ること」 IMRAM 真柄 英之 技術専門職員

「SEM-EDS 材料の「かたち」と「中身」をつかむ顕微鏡分析」 IMRAM 小澤 真美子 技術主任

「EPMA-SXES 特性X線を用いた微小領域の材料解析」 IMRAM 田代 公則 技術専門職員

IMRAM 大橋 諭 技術専門員

「XPS X線で探る、材料表面のナノの世界」 IMRAM 雁部 祥行 技術専門職員

「XRD 微細構造解析のはじめの一歩」 IMR 村上 義弘 技術専門員

「FIB 試料加工例のご紹介」 IMR 佐藤 香織 技術専門職員

15:05-15:45 企業講演：分析事例と大学との連携（各20分）

「材料開発における分析技術の活用～磁性材料を中心に～」

株式会社トーキン 研究開発本部 千葉 美帆 様

「プリント回路基板と関連部材の分析事例」

株式会社タムラ製作所 電子化学実装事業本部 分析技術統括部 小渕 早瑛 様

15:45-15:55 休憩

15:55-16:10 「共用装置の利用を支えるコアファシリティ統括センターの活動紹介」

CFC 坂園 聰美 特任准教授(上席URA)

16:10-16:40 特別講演「軟X線を使った材料分析技術（SXES）で何が分かるか」

IMRAM 寺内 正己 教授

16:40-17:25 パネルディスカッション

「これからの材料研究にどう寄り添うか

～個別分析技術の進展とナノテラスを含めたマルチモーダル、マルチスケール化への対応～」

17:25 閉会

17:30-19:00 意見交換会（セリシール）

※略語について

東北大学金属材料研究所（IMR）

東北大学多元物質科学研究所（IMRAM）

コアファシリティ統括センター（CFC）

※講演資料の配布はありません。

※動画、写真撮影はお断りいたします。



お問合せ先 東北大学産学連携先端材料研究開発センター（MaSC）連携推進室

TEL : 022-217-3826

E-mail:masc-renkei@grp.tohoku.ac.jp



TOHOKU UNIVERSITY
Material Solutions Center